

# 第94回関東大学バスケットボールリーグ戦 〈大会要項〉

1. 主催 公益財団法人日本バスケットボール協会  
一般財団法人全日本大学バスケットボール連盟  
一般社団法人関東大学バスケットボール連盟
2. 後援 三菱電機株式会社、株式会社毎日新聞社
3. 協賛 ビッグホリデー株式会社
4. 期日 8月25日(土)～11月11日(日)  
入れ替え戦…11月13日(火)～15日(木)
5. 会場 駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場、とどろきアリーナ、水戸市総合運動公園体育館  
つくばピオ、横浜国際プール、各大学体育館
6. 競技方法
  - ①1部は12チーム2回戦の総当たりを行う。また、対戦順は本年度選手権大会の順位を参考にする。
  - ②2部は12チーム2回戦の総当たりを行う。また、対戦順は本年度選手権大会の順位を参考にする。
  - ③3部は12チーム1回戦総当たりを行った後、上位・下位グループで順位決定戦を行う。
  - ④4部はA・B・C・Dグループに分けてリーグ戦を行った後、上位・下位グループで順位決定戦を行う。
  - ⑤5部は各ブロック内でリーグ戦を行い、各ブロック上位チームによる入れ替えチーム決定トーナメントを行う。
7. 参加チーム 一般社団法人関東大学バスケットボール連盟の登録チーム
8. 大会規定
  - ①大会登録
    - ・ 大会登録並びにプログラムへの氏名の記載は原則としてスタッフは部長・監督を含め最大7名、本学連登録選手はフルエントリーとする。また、部長・監督以外のスタッフの役職名称は各チームによって変更が可能である。
    - ・ 当日の試合のベンチに入ることのできるスタッフは7名、選手は15名以内とする。コート上で練習できる選手もこの15名以内とする。
    - ・ Web大会登録締切日は7月12日(木)までとする。
    - ・ 大会登録締切日以後のスタッフの追加・変更、選手の番号の変更は認めない。ただし、学生主務・副務・マネージャーのみ認められる。選手一人ひとりが個人番号を有することとする。
    - ・ スタッフ内にJBA公認コーチ資格保持者を1名以上大会登録し、1部・2部所属チームは公認コーチC級以上の資格保持者とし、試合中ベンチにいなければならない。試合中ベンチにいない場合は原則として大会に参加、出場を認めず当該試合は没収とする。
    - ・ 3部以下のチームは公認コーチE2級以上の資格保持者とし、試合中ベンチにいなければならない。試合中不在の場合は原則として大会に参加、出場を認めず当該試合は没収とする。
    - ・ 特別処置として①受講中の場合は認める。(2019年3月31日までにJBAコーチ登録番号が付与されること)②チーム就任1年目に限り可とする。(①②の解釈は②でかつ①であること。)
    - ・ 競技中コート上で同時にプレイできる外国人選手は1名とする。(オンザコート1)
    - ・ 外国人選手の登録数については制限を設けない。
    - ・ 日本国籍を持たなくとも、「教育基本法」「学校教育法」で定める日本での小学校および中学校教育・中等教育学校の前期部分(義務教育)を修了した者は、日本人選手と同等と見なす。
    - ・ 上記の規定に違反した場合は、1回目はベンチテクニカルファウル、2回目は没収試合とする。
  - ②大会追加登録変更
    - ・ 追加登録変更締切日は各大学の初戦日から1週間前の日の19時までとする。
    - ・ 追加登録締切日以後の追加選手の番号変更は認めない。選手一人ひとりが個人番号を有することとする。
  - ③当日エントリー方法及びエントリー変更
    - ・ 当日の試合に出場する選手・スタッフのエントリーは指定された用紙に必要事項を記入し、前の試合のハーフタイム終了時まで各会場大会本部に提出すること。但し、第1試合の場合は試合開始30分前までとする。その

際、外国人選手はエントリー用紙の備考欄に「外国人」と記入すること。

- ・ 当日エントリーと当初大会登録の番号変更は一切認めない。但し、本連盟登録選手（学生主務）が、本連盟登録学生主務（選手）への変更はこの限りではない。副務・マネージャー表記で本連盟登録者の扱いは主務と同等とする。
- ・ エントリー用紙提出と同時に、ベンチに入るスタッフのスタッフ証と選手の選手証を各会場大会本部に提出すること。当日スタッフ証、選手証を忘れた場合、試合出場およびベンチに入ることを認めないが、「本要項8注意事項、③」の手続きを為された場合はこの限りではない。また、スタッフ証と選手証の返却は試合後に行う。
- ・ エントリー用紙提出後、一切の追加・変更は認めない。
- ・ 上記の規定に違反した場合は、1回目はベンチテクニカルファウル、2回目は没収試合とする。

#### ④ユニフォーム

- ・ パンツの長さは膝上までとする。膝頭にかかる長さのパンツは認めない。
- ・ **ユニフォームの襟や肩から上半身用のアンダーウェアがはみ出すことは認めない。**
- ・ ユニフォームは2桁以内の番号を用い、これらの番号以外は認めない。「0」および「00」を使用することは認められ、同時にエントリーすることもできる。また、「07」のように1桁の番号の前に「0」を使用することはできない。
- ・ ユニフォームは淡色（白色）、濃色を用いることを原則とする。但し、何らかの理由でこれを厳守できない場合は対戦チーム同士の話し合いで決定すること。尚、その場合は学連競技部または会場責任者の承認を得ること。
- ・ **ユニフォームのシャツからはみ出してしまう上半身用・腕用のサポーター様のもの（パワー・サポーター、パワー・スリーブなど、通常のサポーターも含む）を着用する場合、淡色（白色）のユニフォームの場合は、ユニフォームと同色のものを着用すること。濃色のユニフォームの場合は、ユニフォームと同色もしくは黒色のものを着用することができる。**
- ・ 怪我等の正当な理由により、大会中、上記サポーターについて厳守できない事が事前に分かった場合は、各大学試合前々日の19時まで本連盟に「サポーター申請」をし、許可を得ること。
- ・ 試合当日の怪我等の正当な理由により、上記サポーターについて厳守できない場合は、当日エントリー用紙提出時、本部に「サポーター申請」をし、許可を得ること。
- ・ **ソックスは、チームの全選手が同じ主となる色でデザインされたもので、試合中見える状態であればならない。**
- ・ ユニフォームの下にTシャツを着用することは認めない。
- ・ ユニフォームへの着替えはベンチやスタンドなどの公衆の面前では行わないこと。
- ・ その他の事項はJBA「ユニフォーム規定」及び「一般財団法人全日本大学バスケット連盟定款・基本規定」を厳守する
- ・ 上記の規定に違反した場合は、1回目はベンチテクニカルファウル、2回目は没収試合とする。

#### ⑤ベンチ

- ・ ベンチはリーグ編成表のチーム番号の若い方がテーブル・オフィシャルズに向かって右側とする。但し、1・2部に関しては、本年度選手権大会の順位を参考にし、上位チームがテーブル・オフィシャルズに向かって右側とする。
- ・ コーチ資格保持者が不測の事態により試合開始時刻に間に合わない場合や、緊急事態が発生した場合は、コーチ資格保持者が不在であっても本連盟の判断で試合を開始することができる。いずれの場合も、コーチ資格保持者が試合開始時に不在となったチームの代表者は、速やかにその理由を証明する書類を大会本部まで提出しなければならない。
- ・ 上記書類を審査し、コーチ資格保持者が不在となった理由が緊急かつやむを得ないものであると認められる場合に限り、本連盟は試合の成立を認めることができる。尚、上記の案件が発生した場合、試合終了後10日以内に当該チームは本連盟宛に「大会中のコーチ資格保持者不在による報告書」を提出することとする。

#### ⑥スターティングメンバー

- ・ コーチ【チームにより部長・監督・学生コーチ・選手の名称の方も可】は試合開始5分前までにテーブル・オフィシャルズにスターティングメンバーを報告してサインすること。

#### ⑦試合中

- ・ サインをしたコーチのみが試合中、チーム・ベンチ・エリア内で立ち続けることができる。
- ・ サインをしたコーチのみが試合中、タイムアウトの請求ができる。但し、3部以下所属チームでコーチ資格保持者が選手としてコート上にいて、コーチ資格保持者がベンチに誰もいない場合に限り、タイムアウトの請求権をベンチにいる非資格保持者に委任できる。また、3部以下所属チームで選手・スタッフ併せて5名の場合に限り、タイムアウトの請求をコート上のコーチ資格保持者から請求する事ができるが、試合開始前のサイン時に相手チームおよび審判に、その旨を報告すること。

- ・ 上記の規定に違反した場合は、1回目はベンチテクニカルファウル、2回目は没収試合とする。

#### ⑧ゴール

- ・ 第1・2ピリオドのゴールは相手チームのベンチ側とし、第3・4ピリオドは自チームのベンチ側とする。

#### ⑨練習

- ・ 試合中はベンチの後ろで練習してはならない。
- ・ ベンチ横のウォーミングアップエリアが設置されている場合は、次に交代する選手のみが当該エリアでアップを行なう事を認める。但し、ボールの使用、当該エリアに長時間の立ち入りを禁止する。また、ウォーミングアップエリアが設置されていない場合は、会場責任者の指示に従うこと。
- ・ 次の試合に当たっているチームが、前の試合のハーフタイムにコート上で練習することは原則として認めない。
- ・ 上記の規定に違反した場合は、1回目はベンチテクニカルファウル、2回目は没収試合とする。

#### ⑩棄権

- ・ 何らかの理由でやむを得ず棄権しなければならない場合は、必ず前日までに本連盟の承認を得て、相手チームに連絡すること。（所定用紙提出）
- ・ 試合開始予定時刻より、15分遅れた場合は没収試合とする。また、指定されたユニフォームが揃わない場合も、これに準ずる。
- ・ 無断で棄権した場合は、理事会協議により後日チームに何らかの処分を下す。
- ・ ゲームを棄権しても割り当てられたテーブル・オフィシャルズやフロアワイパー係等を行うこと。
- ・ 本連盟以外が主催する大会に出場するための棄権は一切認めない。

#### ⑪運営

- ・ 学連競技部において詳細について決定する。

### 8. 注意事項

- ① 選手は選手証、スタッフはスタッフ証を携行し、会場への入場の際には必ず呈示すること。
- ② 事前に本連盟へJBA公認コーチ証のコピーを提出したスタッフまたは選手はその公認コーチ証を携行すること。また、試合当日は各会場大会本部にJBA公認コーチ証を呈示し、スタッフの場合は試合中に首から提げて指揮すること。
- ③ 選手証、スタッフ証、公認コーチ証を忘れた場合は各会場大会本部にて、別途本人確認できる身分（大学の発行する写真付きの学生証・運転免許証等の写真付きのもの）を本人が提示の上、当日限りの仮証明書を発行し試合に参加できることとする。JBA公認コーチ証を忘れた場合はJBAホームページより本人がパスワードを入力し、コーチ証を印刷できる場合は試合参加を認めることとする。いずれの場合も入場料、印刷・発行手数料として1人500円を徴収する。
- ④ テーブル・オフィシャルズおよびフロアワイパー係等は試合開始10分前にそれぞれ指定の場所に着くこと。尚、テーブル・オフィシャルズおよびフロアワイパー係等を怠った場合、始末書を提出すること。
- ⑤ 控え室の使用は当日の「控え室割り当て」に従い、交代はすみやかに行うこと。鍵を使用する場合は各会場大会本部で受け取り、使用後は次の試合のハーフタイムまでに必ず各会場大会本部に返却すること。最終試合のチームは、試合終了後30分以内に退出し鍵を各会場大会本部に返却すること。チーム間での受け渡しは厳禁とする。
- ⑥ 同大会中、遅刻した場合、始末書を提出すること。
- ⑦ 会場において「イン」「アウト」のシューズをはっきり区別して使用すること。
- ⑧ 選手は不測の事態に備えて必ず保険証を持参すること。
- ⑨ 選手は「（一社）関東大学バスケットボール連盟定款・細則・選手資格および資格審査に関する細則」を厳守すること。特に選手の倫理規定を厳守し、本連盟の選手としての品格を保つこと。本連盟所属のコーチ、指導者も常識ある服装をし、身だしなみ等に注意して、品格を保つこと。
- ⑩ 会場校への車の乗り入れは原則として禁止する。但し、遠隔地である場合に限って本連盟にて承認する場合がある。
- ⑪ 万一、不測の事故等にあった場合は速やかに当連盟・各会場大会本部に連絡すること。この場合、試合日時変更等については本連盟競技部の決定による。
- ⑫ 各項に於いて順守できず、始末書・報告書・顛末書等の提出が同大会中合計3回以上あった場合は理事会協議により何らかの処分を下す。

※その他の問題については、本連盟の判断を最終決定とし、本部役員の指示に従うこと。

上記の大会規定以外のルールは、「公益財団法人日本バスケットボール協会 2018バスケットボール競技規則」

「一般財団法人全日本大学バスケットボール連盟定款・基本規定」、「一般社団法人関東大学バスケットボール連盟定款・基本細則」を適用する。

## リーグ戦順位決定方法

◆Ⅰ～Ⅲの手順に従って決定する。なおⅠ～Ⅲ、(1)～(5)については、数字の若い手順が優先される。

Ⅰ. 全試合における勝率の大なるチームを上位とする。

Ⅱ. Ⅰにおいて決定しない場合は、(1)～(5)の手順に従って順位を決定する。

(1) 2チーム以上同率の場合(以下これを当該チームと呼ぶ)は当該チーム間の対戦における勝率の大なるチームを上位とする。

(2) 当該チームの対戦におけるゴールアベレージ(得点÷失点)の大なるチームをその対戦における勝チームとして勝数の多いチームを上位とする。

(3) 同勝数の場合は、当該チーム間の全対戦におけるゴールアベレージの大なるチームを上位とする。

(4) 全試合におけるゴールアベレージの大なるチームを上位とする。

(5) 当該チームの代表者(キャプテンまたはその代理人)による抽選で上位チームを決定する。

Ⅲ. 順位の最終決定は競技部が行う。

## 3部順位決定方法

1次ステージ、2次ステージを実施し、順位を決定する。

1次ステージは1回戦総当たりリーグ(共通)。

2次ステージは、上位グループ・下位グループに分かれて1回戦総当たりの2次リーグを実施する(上位グループ・下位グループはそれぞれ6チームずつ)。

また、最終順位は1次ステージ、2次ステージの合計勝敗数によって決定する。但し、上位グループの大学は下位グループの大学より順位が下回ることはない。

\* 2チーム以上同率の場合は上記「リーグ戦順位決定方法Ⅱ」の手順に従って順位を決定する。

## 4部順位決定方法

1次ステージ、2次ステージを実施し、順位を決定する。

1次ステージはブロック毎1回戦総当たりリーグ(共通)。

2次ステージは、上位グループ、下位グループに分かれて2次リーグを実施する(同ブロックチームとの試合は行わず、1次ステージの結果を用いる)。

\* 2チーム以上同率の場合は上記「リーグ戦順位決定方法Ⅱの手順」に従って順位を決定する。

## 5部順位決定方法

各ブロック内でリーグ戦を行い、その上位チームにより、入れ替えチーム決定(1位～16位)トーナメントを行う。

\* 2チーム以上同率の場合は上記「リーグ戦順位決定方法Ⅱの手順」に従って順位を決定する。

## 来年度リーグ編成決定方法

来年度のリーグ編成は、本年度のリーグ戦成績を基に決定する。リーグ編成の作成は以下の①～③の手順に従って行われる。

①本年度リーグ戦結果の順位(11月11日時点)の高い大学から順番に1部～5部まで割り振る。

②入れ替え戦の結果を反映させ、昇格・降格のあったチームを各部で入れ替える。

③リーグ編成表の番号は、昇格したチームは昇格した各部の末尾の番号に、降格したチームは降格した各部の頭の番号になる。尚、2チーム以上が同じ部間を移動する場合、番号は11月11日の時点で順位が高いチームが若い番号となる。

## 入れ替え戦及び順位決定戦について

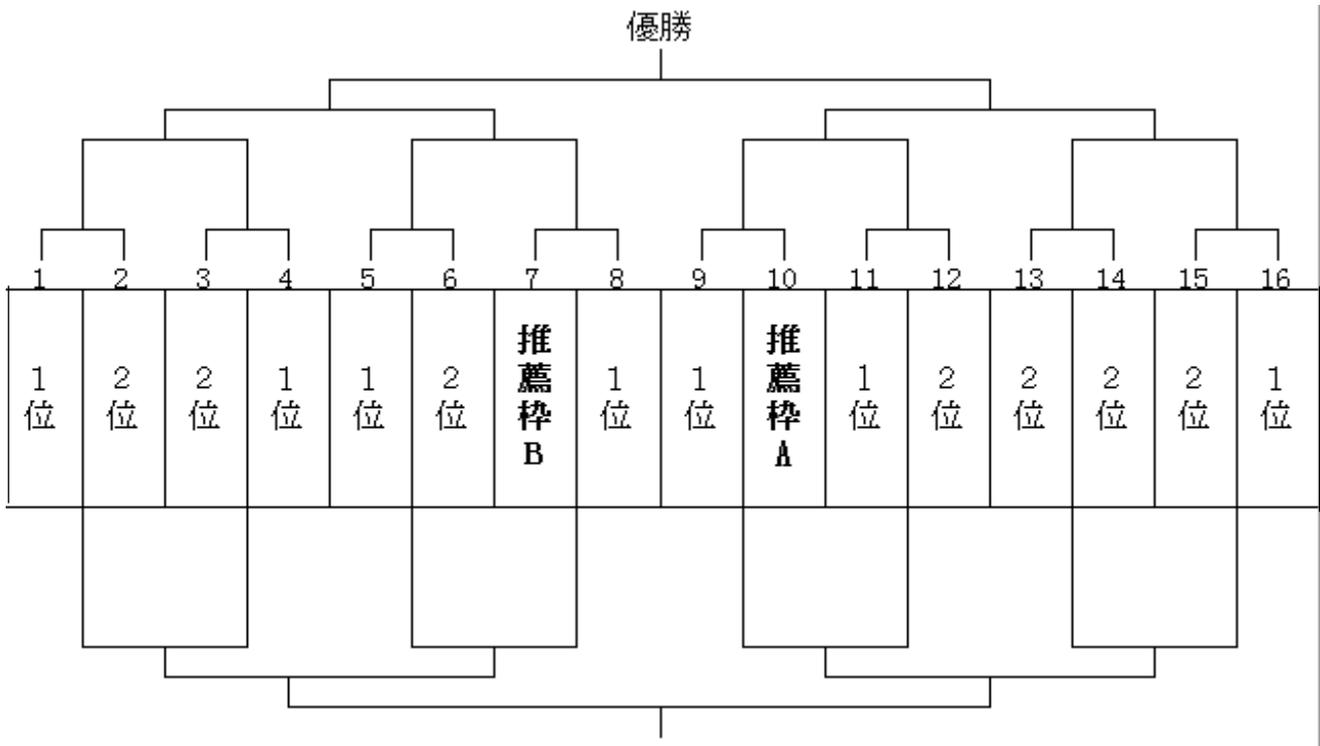
1～5部のリーグ戦がすべて終了した後、11月13日（火）～15日（木）にかけて入れ替え戦及び順位決定戦を行う。

### 順位決定戦

				1日目	2日目	3日目
1部10位	対	2部 3位	3回戦の2勝先取	○	○	○
1部 9位	対	2部 4位	2勝先取	1部9位1勝	○	○
				※1部9位に1勝のアドバンテージ		
2部10位	対	3部 3位	3回戦の2勝先取	○	○	○
2部 9位	対	3部 4位	2勝先取	2部9位1勝	○	○
				※2部9位に1勝のアドバンテージ		
3部10位	対	4部 3位	1本勝負	○	—	—
3部 9位	対	4部 4位	1本勝負	○	—	—
4部19位	対	5部 6位	1本勝負	○	—	—
4部18位	対	5部 7位	1本勝負	—	○	—
4部17位	対	5部 8位	1本勝負	—	○	—
4部16位	対	5部 9位	1本勝負	—	—	○
4部15位	対	5部 10位	1本勝負	—	—	○

### 自動入れ替え

1部	11位～12位	⇔	2部	1位～2位
2部	11位～12位	⇔	3部	1位～2位
3部	11位～12位	⇔	4部	1位～2位
4部	20位～24位	⇔	5部	1位～5位



ただし、今年度の推薦枠A、Bは、

推薦枠A：大宮ブロック【編成校数が8校のため】

推薦枠B：渋谷ブロック【昨年度入れ替えチーム決定トーナメント優勝校所属ブロックのため】

とする。